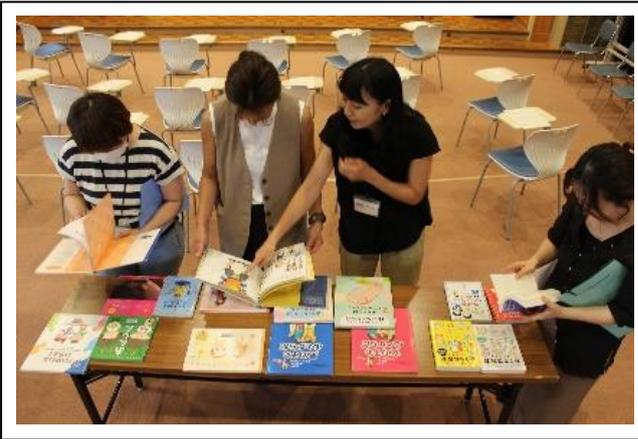


令和6年度

牛久市家庭教育学級実践集 第13号

うしくっ子



目 次

1	教育長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
	「未来を拓く児童生徒の育成に向けて」	
2	牛久市の家庭教育学級・・・・・・・・・・	P 2～3
3	令和6年度家庭教育学級役員組織及び学級生数	P 4
4	令和6年度各園、各校の実践一覧	P 5
5	家庭教育学級の歩み・・・・・・・・・・	P 6～24
	(園・学校の実践報告)	
	◇園	
	第一幼稚園・・・・・・・・・・	P 6
	ひたち野牛久幼稚園・・・・・・・・	P 7
	◇小学校	
	牛久小学校・・・・・・・・・・	P 8
	岡田小学校・・・・・・・・・・	P 9
	牛久第二小学校・・・・・・・・・・	P 10
	中根小学校・・・・・・・・・・	P 11
	向台小学校・・・・・・・・・・	P 12
	神谷小学校・・・・・・・・・・	P 13
	ひたち野うしく小学校	P 14
	◇中学校	
	牛久第一中学校・・・・・・・・・・	P 15
	牛久第三中学校・・・・・・・・・・	P 16
	下根中学校・・・・・・・・・・	P 17
	牛久南中学校・・・・・・・・・・	P 18
	ひたち野うしく中学校	P 19
	◇義務教育学校	
	おくの義務教育学校(1年生).....	P 20
	" " (7年生).....	P 21
6	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・	P 22



未来を拓く児童生徒の育成に向けて

牛久市教育委員会教育長 川村 始子

保護者の皆様方には、日頃より牛久市の教育発展のためにご協力を頂き、感謝申し上げます。

社会の急速な変化に伴い、安全基地として家庭の役割はますます大きくなっています。家庭で羽を休め元気を取り戻し、外の世界で活躍することができる。そんな温かい居場所が成長するためには大切です。

これは、児童生徒だけではなく大人も同じです。

さて「子どもは未来からの留学生」と言われます。牛久市の児童生徒たちが社会の中心となって活躍するであろう2050年に日本はどうなっているでしょう。正確に予想することはできませんが、その時に必要な資質能力とは、客観的な現状認識と問題意識、そして解決のための知識・技能、情報収集能力、そして思考力・判断力、そして最適解や納得解を生み出すため他者と協働するための表現力等であると考えます。では、その力をつけるためには何が必要か。私は試行錯誤と諦めない気持ちであると考えています。それは、幼児期の遊びの中で、うまくなりたいと思うスポーツの中で、学級会活動等で培われます。

様々な体験を通じて、「どうしたらできるだろう」と試行錯誤を繰り返し、仲間と協力して成し遂げようとする気持ちが、成長して自身や地域の問題を解決する行動につながっていくでしょう。牛久市としても主体的に行動し、豊かな発想で課題に向き合う人財を育成し、個々の児童生徒の可能性を最大限生かすようにしていきたいと考えています。

家庭教育学級においては、今年度も各園・学校で家庭教育学級委員長さんを中心に特色ある活動が展開され、「牛久市家庭教育学級実践集第13号」を発行できることになりました。ここに関わって頂きました皆様方に感謝の意を表すとともに、ますます家庭教育が充実することを願ひまして、あいさつと致します。

牛久市の家庭教育学級

テーマ 「出会い・ふれあい・学び合い」

— 親同士の交流や学び、親子のふれあいを通して —

1 趣旨

将来を担う子どもたちの健全な成長は、いつの時代でも社会の重要課題の一つです。特に幼少期における家庭教育は、社会生活のために必要な習慣や自立心、規範意識等を身に付けさせるものであり、その後の学校教育や社会生活に向けての出発点であると言えます。

しかし、昨今の家庭は形態が多様化し、地域社会とのつながりも希薄になりがちです。さらに家庭を取り巻く社会環境が大きく変化し、様々な問題を抱えている家庭が増えてきています。そのような中で地域における家庭を支える力は低下し、地域の身近な人から子育てを学んだり助け合ったりする機会が減少しているのも現状です。

そこで、子育ての喜びや苦勞、悩みなどを共有しながら、子どもとともに成長していくための、親同志の「学びの場・交流の場」が重要となってきました。その場のひとつが「家庭教育学級」です。

2 牛久市の家庭教育学級テーマについて

牛久市では、まちづくりのひとつとして、家庭教育学級の活動に力を入れています。子育ては家庭だけではなく、地域社会全体で推進していくことが大切です。子育ての喜びや苦勞、不安、悩みを共有することで子育て中の孤立感を排除し、支え合いながら、子どもの成長を温かく見守ることのできる共同体を作っていくことが大きなねらいです。



親子で楽しくものづくり(小学校)

各幼稚園や学校において、家庭教育学級を開設し、委員長を中心に役員・担当の先生が主体となって、「学びへの参加と仲間づくり」「親子のふれあいの場」「学ぶ機会の提供」を柱に、活動を進めています。

4 目指す学級生像

- (1) 子育てについて意欲的に学ぼうとする姿
- (2) 活動を通して積極的に交流を図ろうとする姿
- (3) 進んで子どもの良さを発見しようとする姿



子どもに必要な栄養素とは(中学校)

3 活動内容

- (1) 子育てについて
- (2) 親子関係・家族のふれあいについて
- (3) 子どもの心とからだの健康（性・いじめ・虐待も含む）について
- (4) 食育について
- (5) 学校・地域と連携した子育てについて



親同志が交流を図りながら（幼稚園）

5 活動方法

- (1) 講話や講演会による学習
- (2) ワークショップによる学習（一定のテーマを決めて自由に意見交換）
- (3) 親子のふれあいを深める学習
- (4) 親同士が体験を通して、情報交換をする学習
- (5) 見聞を広げる学習
- (6) メディアを活用した学習

6 年間の活動

月	事業	内容	対象
4月	組織の編成	・家庭教育学級生の募集	学校担当の先生 学級役員
	役員を選出	・学級委員長・副学級委員長等の選出	学級生
	担当者説明会 4月26日（金） 10:00～11:30	・趣旨・テーマの共通理解 ・運営の手順等について	学校・学級担当の先生 学級役員
5月 ～ 11月	開級式・閉級式を含めた学級活動 （園・学校毎に実施）	・園長、学校長（教頭）の話 ・役員紹介、学級目標の確認 ・テーマに沿った活動	学級生 学級・学校担当の先生
1月 ～ 2月	合同閉級式・講演会 令和7年2月7日（金） 学級役員会・反省会 （同日開催）	・合同閉級式 実践発表：幼・小・中学校代表 ・講演会 ・令和6年度事業の反省と今後の指針について	学級生 学級・学校担当の先生 市内児童生徒保護者

令和6年度 各校の実践一覧

No	学校	1回目		2回目	
1	第一幼稚園	親子活動「手形アート」 座談会	6月18日	座談会	11月20日
2	ひたち野牛久幼稚園	座談会	6月27日	手洗い教室 給食試食会	10月28日
3	牛久小学校	オリジナルフォトフレーム作り	7月5日	給食室見学 給食試食会	11月18日
4	岡田小学校	食育についての講話 給食試食会	7月11日	性教育講演会「いのちの授業」	10月18日
5	牛久第二小学校	講演会「特性のある子どもへの 理解と協調」	7月4日	食育講演会 給食試食会	10月25日
6	中根小学校	講演会「学校での性教育」	9月20日	講演会「学校でのタブレット活 用」及び授業参観	10月22日
7	向台小学校	歯と口の健康教室	7月2日	講習会「スマートフォンの正し い使い方」	11月29日
			3回目	給食試食会 食育講演会	12月6日
8	神谷小学校	救命救急講習会	7月12日	親子活動「リース作り」	12月6日
9	ひたち野うしく小学校	講習会「腸のおはなし」	7月12日	親子リース作り	11月28日
10	牛久第一中学校	給食試食会	5月22日	講座「ホントに誰でも楽しめる 英語講座」	10月23日
11	牛久第三中学校	実技講座「珈琲教室」	7月16日	体操教室「心も体もハッピーセ ミナー」	10月28日
12	下根中学校	食育講演会 給食試食会	7月1日	調理実習「サツマイモまんじゅ う」	11月25日
13	牛久南中学校	食育研修 給食試食会 情報交換会	9月6日	講演会「自分（いのち）を大切 にしていけるために」	11月1日
14	ひたち野うしく中学校	講演会「思春期の子どもへの接 し方」	9月17日	親子学習「中学生のためのライ フデザイン講座」	12月13日
15	おくの義務教育学校 前期課程	親子科学工作教室「ビー玉万華 鏡づくり」	6月12日	親子活動「あさがおリース作 り」	11月26日
16	おくの義務教育学校 後期課程	給食試食会 食育講演会	6月25日	講演会「思春期の子どもとの関 りについて」	11月5日
年間参加者延べ人数		1551人			

家庭教育学級の歩み

牛久市立第一幼稚園家庭教育学級

委員長 鈴木 裕子

1 第一幼稚園の家庭教育学級の目標

「活動を通して保護者同士の交流を深め、子育てを共有できる場をつくる」

2 学習活動の経過

- (1) 5月20日 (月) ・開級式
- (2) 6月18日 (火) ・親子活動「手形アート」
・座談会
- (3) 11月20日 (水) ・第2回 座談会
・閉級式 生涯学習課 稲富さんのお話
園長先生のお話

3 実践を振り返って

(1) 開級式

園長先生より、親子のコミュニケーションやスキップががとても大切であり、親の心の安定が子どもの心の安定にもつながるなどアドバイスを頂き、保護者の方々に書面で伝えることができました。



手形アートの作品

(2) 親子活動

親子で手形を取り、好きな絵を描いたりシールを貼ったりして、世界に一つだけの素敵な作品に仕上がりました。子どもたちが自由にのびのびと表現している姿が印象的でした。



座談会での情報交換

(3) 第2回 座談会、閉級式

座談会では、3～5歳児の保護者を4つのグループに分けて自由に話をしました。日ごろのちょっとした子育ての悩み、おすすめの地域の遊び場、就学に向けてなどの情報を共有したり、意見交換をしたりしました。学年を超えた交流は有意義な時間となりました。

4 まとめ

令和6年度 Daiichi マザーズクラブを通して、親子で楽しい時間を過ごし保護者同士の交流をもつことで、より親睦を深めることができました。参加した保護者より、思い出に残る作品ができた、楽しかったなど感想を頂きました。協力して下さった子どもたち、先生方、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

家庭教育学級の歩み

ひたち野牛久幼稚園家庭教育学級
委員長 俵 優佳

1 ひたち野牛久幼稚園の学級目標

「活動を通して親同士の親睦を深め、子育てを一緒に学び合う」

2 学習活動の経過

- (1) 5月17日(金)
 - ・開級式
 - 井波園長先生の話
 - 俵委員長挨拶(学級目標・年間計画)
- (2) 6月27日(木)
 - ・座談会、家庭教育学級担当者の挨拶
- (3) 10月28日(月)
 - ・手洗い教室・給食試食会
 - ・閉級式
 - 井波園長先生の話
 - 俵委員長挨拶(司会)

3 実践を振り返って

(1) 開級式

総会後に実施したため多くの保護者出席のもと家庭教育学級の意義・必要性を互いに学び、親としての意識を高めることができました。

(2) 座談会

最初は学年毎に座りその後は席替えをし学年関係なく談笑しました。学年を越える交流はなかなか出来ないためこのような機会に参加出来て良かったという声やまた子育ての相談や悩みなど共感して話せたことで息抜きもできたという感想もいただきました。



(3) 手洗い教室・給食試食会

手洗い教室では手洗いチェッカーを用いたことで洗い残しが一目で分かり、園児・保護者共に丁寧に洗っているつもりでも落ちていないことにびっくりしていた様子でした。園・家庭で感染予防に関して学ぶにはとてもいい機会であったとお声をいただきました。



給食試食会に関しては保護者間交流を図るいい機会であると思い、各学年で円になり試食会を実施しました。コロナ禍以降給食試食の機会がなかったため園児が日頃どのくらい食べているか分かったことや兄姉のいる保護者からは小学校や中学校の給食のお話も聞け、楽しい交流の場であったとお声をいただきました。

4 まとめ

学年の枠を超えて保護者同士の親睦を深めることができました。参加した保護者の方から、また参加したい、楽しかった等、多くのご感想をいただきました。それぞれの活動を通じ、様々な事を学び知識を得て、これからの子育てに活かしていきたいと思えます。

ご協力ご参加いただいた皆様に深く感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

家庭教育学級の歩み

牛久小学校家庭教育学級

1 牛久小学校の学級目標

「活動を通して子育てについて情報交換をしたり、自分を見つめ直したりすることで、子どもとの関わり方や話のきっかけの場をつくる」

2 学習活動の経過

(1) 7月5日(金)

- ・開級式 教頭先生の話
学級長挨拶・役員紹介・学級目標
- ・オリジナルフォトフレーム作り

【講師】大内祐子さん

(2) 10月18日(金)

- ・給食室見学&給食試食会
【講師】牛久小栄養士 下河邊 文香先生
- ・閉級式 教頭先生の話
学級委員長挨拶
生涯学習課 秋山様の話



3 実践を振り返って

(1) オリジナルフォトフレーム作成講座

百元ショップなど身近で手に取りやすいお店で材料を揃え、講師の先生に丁寧に教えていただきながらレジンで貼り付ける体験をさせていただきました。保護者同士の親睦を深めながら和気あいあいとパーツの配置を決めたり、集中して作成したりできました。また、保護者がリフレッシュすることで子育てにゆとりをもつことが大事だということを改めて実感することができました。

(2) 給食室見学&給食試食会

2班に分かれ給食室を見学し、栄養士の先生から給食に関する様々な工夫やご苦労等の貴重な話を聞くことができました。実際に子どもたちと同じように給食の配膳をし、グループで試食をしながら自分たちの時代の給食を振り返るなど、話が大変盛り上がり、多くの学級生と親交を深めることができました。

4 まとめ

1年間の家庭教育学級の活動を通して、学年クラスの枠を超えて保護者同士の交流を深めることができました。また、参加した保護者の皆様からも、ぜひまた給食試食会を企画してほしいという声を沢山いただくことができました。調理室の様子や子ども達の給食の様子を見学できたのも貴重でした。

ご指導頂きました講師の皆様、ご参加頂きました保護者の皆様、ありがとうございました。

家庭教育学級の歩み

岡田小学校家庭教育学級

- 1 岡田小学校の家庭教育学級目標
「保護者同士の学び合い、交流の場をつくり、子ども達の健やかな成長を育む環境をつくる」

- 2 学習活動の経過

- (1) 7月11日(木)

- 開級式

- ・加藤校長先生の話
- ・社会教育指導員秋山先生の話
- ・PTA 会長小林さんの話
- ・学級委員長挨拶(役員紹介・学級目標・年間計画)

- 講話「食育について」

- ・講師 岡田小学校栄養教諭 渡邊 紗 先生
- ・給食試食会

- (2) 10月18日(金)

- 性に関する講演会「いのちの授業」

- 講師 陳 央仁 先生

- 閉級式

- ・齋田教頭先生の話/学級委員長挨拶

- 3 実践を振り返って

- (1) 食育について・給食試食会

本校の栄養教諭渡邊先生の講話では、ジュースやお菓子などにはどのくらいの糖分や油分量が含まれているのかを、資料を用いてとても分かりやすくお話をいただきました。日頃の家庭での食生活を見直す良い機会となりました。保護者の方々が興味深そうに耳を傾けている姿が印象的でした。試食会では、給食委員の子ども達が作成した映像を見ながら和やかな雰囲気の中でおいしい給食をいただきました。



- (2)いのちの授業

龍ヶ崎済生会病院産婦人科医の陳央仁先生をお迎えし6年生を対象とした授業に保護者も同席しました。陳先生の産婦人科医としての専門的な知識や実務経験などの貴重なお話を温かく力強くいただきました。「全ての人々は愛されるために生まれてきた」こと「生命の尊さ」を改めて感じることができた大切な時間となりました。



- 4 まとめ

活動するにあたり、役員全員で協力し合いながら取り組むことができ、学級目標に沿った有意義な活動ができたのではないかと思います。ご指導ご協力いただきました皆様、ご参加くださいました保護者の皆様、心より感謝申し上げます。

家庭教育学級の歩み

牛久第二小学校家庭教育学級

委員長 鈴木 紗希

副委員長 寺内 可奈子

1 牛久第二小学校家庭教育学級目標

「親同士の交流の場としてつながりをはぐくみ、子育てに有益な情報を共有し活かす」

2 学習活動の経過

(1) 7月4日(木)

- ・開級式 委員長挨拶(年間学級目標・役員紹介)

田中校長先生の話

- ・講話 「特性のある子どもへの理解と協調」 講師 細川美由紀准教授



講演会の様子

(2) 10月25日(金)

- ・食育研修会

講話① 講師 牛久第二小学校栄養士 種瀬由美子先生

講話② 講師 牛久市食生活改善推進員(ヘルスマイト)

配膳見学/給食試食会



配膳見学の様子

- ・閉級式 委員長挨拶(活動報告)/井口教頭先生の話
秋山社会教育指導員の話



給食試食の様子

3 実践を振り返って

(1) 開級式・講演会

この講演テーマの需要を鑑み1～3年生保護者を対象として開催しました。

当日は茨城大学の細川准教授をお招きし、講話をしていただきました。できることに注目してよい行動を定着させる手法は、特性の濃淡に関わらず日常の子育てに応用できるものでした。わが子のみならず、周囲の子とのコミュニケーションを見直す良い機会となりました。

(2) 食育研修・閉級式

学校給食について理解を深め、安全でおいしい給食づくりが実践されていることを知り、参加保護者の安心につながりました。給食試食では実際の給食を知ることができ、講話と併せての開催が効果的でした。試食中の歓談はもちろん、配膳などを通して保護者間の交流や協調関係を築くことができました。

4 まとめ

今年度は実践的学びの共有を重視して活動しました。参加できない家庭に向けても実施報告書を作成し、情報共有に努めました。しかし活動を経て、保護者間の交流の場が必要であることも実感しました。このつながりと学びを活かしていきたいと思えます。ご協力いただきました講師の皆様、牛久二小の先生方に深く感謝申し上げます。

家庭教育学級の歩み

中根小学校家庭教育学級
委員長 松下コムキョウ

1 中根小学校の学級目標

「親同士の親睦を深めて、子育てを学び合うこと」

2 学習活動の経過 ※市全体の研修は除く

(1) 9月 20日(金) ・開級式

梅田学級副委員長の挨拶

校長先生のお話

・講演 [学校での性教育]

・意見交換

(2) 10月 22日(火) ・講演 [学校でのタブレット活用]

・タブレットを使用した授業参観

・閉級式

校長先生のお話

松下学級委員長の挨拶

3 実践を振り返って

(1) 第1回「子どもが学校で学ぶ性教育を家庭でも考えてみよう」

中根小養護助教諭の先生方より、子ども達が学校で学ぶ性教育の内容をお話いただき、それを踏まえて家庭でどのように性について伝えるべきか考えることができました。後半は性教育に関する図書の紹介があり、本を手に取りながら保護者同士が性教育についてオープンに意見交換することができました。



性教育について語り合う

(2) 第2回「子どもと一緒にタブレット体験」

牛久市 ICT 支援員の大島先生より、ギガスクール構想の動向や、学校でのタブレットの活用方法、家庭での注意事項をお話いただきました。後半はタブレットを使用した授業を参観し、学校でのタブレット活用についてイメージをもつことができました。



子供と一緒にタブレット体験

4 まとめ

どちらの回も、多くの保護者が悩みを感じるテーマを取り扱い、良い学びの場となりました。また、保護者同士がテーマについて和やかに意見交換をする姿も多くみられ、保護者同士の交流の場となりました。

家庭教育学級の歩み

向台小学校家庭教育学級
委員長 高田 寛子

1 向台小学校の学級目標

「親子で活動することを通して、親子や親同士の繋がりを深め、子育てを学び合う。」

2 学習活動の経過 ※市全体の研修は除く

- (1) 7月 4日(木) ○ 開級式
○ 歯と口の健康教室
講師 茨城県歯科衛生士会歯科衛生士
広瀬 伸子 先生 市塚 裕子 先生
横田 有花 先生
・歯と口の健康について講話、染め出し液を利用した歯磨き指導
- (2) 11月29日(金) ○ スマートフォンの正しい使い方
講師 牛久警察署生活安全課 高野様
・スマートフォンにおけるトラブル例、家庭でのルールづくり
- (3) 12月 6日(金) ○ こどもの栄養と給食(給食試食会)
講師 向台小学校栄養士 舟山 愛理
・栄養士による学校給食の説明、給食試食、給食参観
○ 閉級式

3 実践を振り返って

(1) 歯と口の健康教室

向台小学校は、虫歯の未処置率が高いという課題があるというお話や、虫歯は成長への影響が大きいというお話を聞いて、歯磨きの大切さを改めて実感しました。教えていただいた磨き方を、家庭でも実践していきます。

(2) スマートフォンの正しい使い方

スマートフォンの使い方や、間バイト問題など子ども達への影響など、親としてどのように対応すればよいか悩んでいる家庭も多い中、実際に警察の方にお話を聞いたことは、とても有意義な時間となりました。



スマートフォンの正しい使い方

(3) こどもの栄養と給食(給食試食会)

献立の立て方や健康安全を考えた調理方法など、子供達の成長を考えて給食がつくられていることをお聞きして、家庭での食生活についても改めて考える機会となりました。久しぶりの給食もとても美味しかったです。



こどもの栄養と給食

4 まとめ

今回は、子ども達を取り巻く身近な問題や、家庭で悩んでいることなどに即した内容をもとに計画したことで、たくさんの保護者に関心をもって参加していただくことができました。今回の研修をとおして、保護者同士で課題や悩みを共有し、一人一人の子供達の成長を保護者全体で支えていくことが大切だと実感しました。ご協力いただいた講師の先生や、ご参加いただいた保護者の皆様に、深く感謝申し上げます。

家庭教育学級の歩み

神谷小学校家庭教育学級
委員長 中辻 文菜

1 神谷小学校の学級目標

「親としての知識を深める・親子で楽しみながらものづくりに取り組む」

2 学習活動の経過

- (1) 7月12日(金) 開級式・救命救急講習会
 - ・教頭先生の話
 - ・委員長挨拶(学級目標・役員紹介・年間計画)
 - ・消防署の方をお呼びして、救命講習会
- (2) 12月6日(金) 閉級式・親子活動「リース作り」
 - ・閉級式
 - ・挨拶
 - ・親子でリース作り

3 実践を振り返って

(1) 開級式・救命救急講習会

「我が子の命を守る」をテーマに稲敷消防本部の方をお呼びして子どもに対する救命処置や、水の事故に対する対処法をお願いしました。心肺蘇生やAEDの使い方、live119の説明等、初めて知る内容もありとても有意義な講習会だったと思います。子どもに対しての救命救急の知識は少ないので、とてもいい機会になりました。



救命救急講習会

(2) 閉級式・リース作り

沢山の保護者の方に来て頂いて、親子で楽しく活動することができました。普段と違う子ども達を見ることができるとともに、子どもの成長も感じることができました。



親子リースづくり

4 まとめ

2回の活動を通して、学級目標である「親としての知識を深める」については、日頃なかなか経験できない貴重な体験ができ、子どものために知識を得られたと思います。

リース作りでは、親子の貴重な時間をととても楽しく活動することができ、又、保護者同士の交流をもつ機会も作ることでとても有意義な内容となりました。

家庭教育学級の歩み

ひたち野うしく小学校家庭教育学級

委員長 横井 彩子

1 ひたち野うしく小学校の学級目標

- ・親同士の親睦を深め、子育てを一緒にできる環境づくりに繋げる。
- ・子育てについての情報交換をするとともに、新しい気づきに繋げる。
- ・体験を通して親子の絆を深め、新しい気づきの場を作る。

2 学級活動の経過

(1) 7月12日(金) 開級式

- ・はじめのことば
- ・前原校長先生のお話
- ・横井委員長の挨拶(学級目標・役員紹介・年間計画)
- ・講習会(講師:古河ヤクルト販売(株)栗原 剛 様)
「腸のおはなし」



(2) 11月28日(木)

- ・親子リース作り
- ・閉級式
担任の先生のお話 家庭教育委員の挨拶



3 実践を振り返って

(1) 開級式・講習会「腸のおはなし」

開級式では、前原校長先生がご自身の子育ての経験談をお話しくださりました。講習会では、講師の先生がアニメーションや腸の模型を使って子ども達にも分かりやすく「規則正しい生活習慣の大切さ」をご説明くださり、改めて我が子の生活習慣を見直すきっかけをいただきました。

(2) 親子リース作り・閉級式

親子リース作りでは、グルーガンを使った飾りつけの補助を保護者が主に担当し、親子で一緒にアイデアを出し合いながら飾りつけを行いました。出来上がったリースをお友達と見せ合ったり、褒め合ったり、笑顔があふれるとても楽しい時間になりました。

4 まとめ

親子リース作りの後、保護者のみで情報交換会を企画したところ、とてもたくさんの方にご参加いただき活発な情報交換会を開催することができました。家庭教育学級の今年度の活動を通じて、年間目標である保護者間の親睦を深めて、子育てに関する情報交換を行い、また、体験を通して親子の絆を深めることができました。活動の企画・運営は大変な面もありましたが、委員全員で協力して進められたので、委員同士の絆も深まりました。この委員を担当することができたことにとっても感謝しています。

家庭教育学級の歩み

牛久第一中学校家庭教育学級
委員長 見越久美子

1 牛久第一中学校の学級目標

「保護者同士の交流を深め、子育てについての情報交換や学び合う場をつくる」

2 学習活動の経過

(1) 5月22日(水) ○開級式

- ・池邊教頭先生の話
- ・生涯学習課 秋山先生の話
- ・見越学級委員長の挨拶(学級目標・役員紹介・年間活動計画等)

○給食試食会

- ・生涯学習課 秋山先生の講話

(2) 10月23日(水) ○講演 「出張!かめかめEnglish!」

～ホントに誰でも楽しめる英語講座～

講師 亀田昌代 先生 / ピアノ伴奏 小山文代 先生

○閉級式

- ・池邊教頭先生の話
- 生涯学習課 秋山先生の話

3 実践を振り返って

(1) 開級式

給食に関して調理や廃棄量を少なくする工夫や、中学校生活についてなど、多方面に話を聞くことができ、興味深く関心を寄せられる学びの深い機会でした。

(2) 給食試食会

子どもたちが毎日口にする学校給食を、保護者同士で情報を交換しながら美味しく楽しくいただきました。

味、温かさ、量などを知る機会ができ、配膳や片付け体験もできて、貴重な時間を過ごすことができました。

(3) 講演会 【かめかめEnglish】

講師の先生のおもわずクスッと笑ってしまう英語のコミュニケーションの取り方やピアニストの先生による伴奏で英語の歌を歌い、笑いながら楽しい雰囲気でした。

英語が苦手でもすんなり頭に入り、最初難しいのではと身構えていた方も、楽しい内容で盛り上がりました。

都合が合えばより多くの方に参加していただきたかったです。

4 まとめ

家庭教育学級を通して、学年やクラスの枠を超えて、普段交流のなかった保護者同士で親睦を深めたり、情報交換の機会を得られました。それぞれの活動から沢山のことを学び、知識を得て、有意義な時間を過ごすことができました。家庭教育学級は多くのことを体験できる場であり交流の場であることを実感しました。

ご協力をいただきました保護者の皆様、ご指導いただきました先生方、講師の先生方に深く感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



給食試食会



講演会の様子

家庭教育学級の歩み

牛久第三中学校家庭教育学級
委員長 相良 明希子

1 牛久第三中学校家庭教育学級目標

「活動を通してテーマについての知識を得ながら、親同士の親睦を深める。子どものクラスや学年を越えて親同士が集う良い機会の場をつくる。普段話す機会のない親とも交流し、子育ての情報交換や気付きの場をつくる。」

2 学習活動の経過

(1) 4月20日(土)

- 開級式 ※PTA 総会の中で実施
 - ・学級担当 泉先生の話 ・相良学級委員長の話 (学級目標・年間計画・学級役員紹介)



(2) 7月16日(火)

- 珈琲教室 ～珈琲について学び、淹れて飲んでみよう～
講師 南部佳正先生 (自家焙煎珈琲豆専門店 南部珈琲)
 - ・講話 (珈琲の歴史、淹れ方の違い、味わい方)
 - ・実技 (実際に淹れ豆の違いを感じる)
 - ・珈琲タイム (懇談・情報交換等) ・感想発表
 - ・松野教頭先生の話 ・入江PTA 会長の話
 - ・相良学級委員長挨拶



(3) 10月28日(月)

- 心も体もハッピーセミナー
講師 椎名良子先生 (カイゼンスタジオ)
 - ・ストレッチしながらQ&A
 - ・リズムに乗って有酸素運動
 - ・クールダウンタイム(懇談・情報交換等)
 - ・感想発表 ・学級担当 泉先生の話 ・相良学級委員長挨拶
- 閉級式
 - ・学級委員長挨拶 ・牛久市生涯学習課 秋山先生の話



3 実践を振り返って

(1) 開級式

今年は学校の総会に盛り込む形で実施しました。より多くの保護者に家庭教育学級の存在と意味を周知でき、例年以上の関心をもってもらえたように思います。

(2) 珈琲教室

普段何気なく飲んでいるコーヒーですが、珈琲豆の歴史や種類・特徴、ドリップ方法などを冗談も交えながら先生に教えてもらい、楽しく知ることが出来ました。実際に、グループ毎に時間を計りながら淹れてみるととても盛り上がり、飲み比べや懇談も時間が足りないくらい素敵な学級になりました。

(3) 心も体もハッピーセミナー・閉級式

参加者を募る段階で先生への質問を募集し、そちらをQ&Aにし、普段なかなか運動をしない方でも、体のことを楽しく学びながら気持ち良く体も動かせるような学級を目指しました。先生がとにかく明るく、ダンスの場面では「出来なくて大丈夫！」と声をかけてくれたので、戸惑うことなく皆楽しく汗をかくことが出来ました。閉級式では秋山先生にご挨拶いただき、今年度の学級も無事に閉じることが出来ました。

4 まとめ

現代の忙しい保護者にどうしたら参加してみようと思ってもらえるか、気に留めてもらえるか、沢山考えました。私達にとっても、とても収穫の多い経験となりました。ご協力頂きました全ての皆様に、深く感謝申し上げます。

家庭教育学級の歩み

下根中学校家庭教育学級
委員長 杉本 友美

1 下根中学校の学級目標

- ・活動を通して、親同士の親睦を深め新しい気付きの場を作る。
- ・体験を通して、親子の絆を深め、子育てを楽しむ。

2 学習活動の経過

- (1) 7月 1日 (月)
- ・開級式
真木教頭先生の話
杉本学級委員長の話(学級目標・役員紹介・年間計画)
 - ・講話「中学生の食生活について」
講師 潮崎 純子先生(下根中学校栄養教諭)
 - ・学校給食試食会
- (2) 11月25日 (月)
- ・調理実習「サツマイモまんじゅう」
講師 潮崎 純子先生(下根中学校栄養教諭)
 - ・閉級式
古川先生の話
杉本学級委員長の挨拶

3 実践を振り返って

(1) 開級式・中学生の食生活について考える研修、給食試食会

栄養教諭の先生の講話から中学生に必要な食事の量や栄養素について学びました。質疑応答の時間もありたためになる話ばかりが飛び交いました。

参加された保護者同士でも意見交換を交えながら、食育に関する理解を深めることができ良かったです。実際の給食を試食し、減塩への工夫や沢山の野菜を取り入れたおかずの提供については、とても勉強になりました。



【講話「中学生の食生活について」】

(2) 閉級式・調理実習「サツマイモまんじゅうづくり」

保護者同士の交流が少なくなっている中で、子どもたちの大好きな給食メニューの調理を企画しました。実際の給食に年に3回提供されているものであり、それに近いレシピを考案してくださいました。子からの情報しか聞いてなかったため、ワクワクしながら調理ができたのではないかと思います。食べるチャンスもなかったため冬休みやクリスマスに子と調理したいなと声が聞けたこと、とても嬉しく感じました。調理時間の中でお互いの子の話も出てきて、リラックスした時間が過ごせているので試食も楽しくできたのではないかと思います。



【調理実習「サツマイモまんじゅう」】

4 まとめ

保護者同士の交流の機会がなくなってきている近年には、少しでも参加者があ
ることはよかったです。働いているお母さんたちが多い中、参加しやすい内容や時間、日時の工夫は必要ではないかと思いました。家庭教育学級の負担が多いと思いますが、しっかり役割分担をしていけば良き活動になるのではない
かと思いました。楽しかった、参加してよかったという声が聞ければ最高だし成
功だと思えます。ここで学んだ内容は、今後の育児に活かしていきたいと思いま
す。ご参加いただきました保護者の皆様、学校の諸先生方、ご協力いただきまし
た学年学級委員の皆様には心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

家庭教育学級の歩み

牛久南中学校家庭教育学級
委員長 須賀 ゆり子

1 牛久南中学校の学級目標

「保護者同士、情報交換の場を作り、交流を深め、より良い子育てにつなげる」

2 学習活動の経過

- (1) 9月12日(木) ・開級式
・食育の研修
「学校給食について知ろう、語ろう」
講師：稲葉 智子先生(牛久南中学校栄養教諭)
- ・給食試食会／情報交換会
- (2) 11月1日(金) ・成人教育委員会・家庭教育学級合同性教育講演会
「自分(いのち)を大切に生きて～君は愛されるために生まれた～」
講師 龍ヶ崎済生会病院 産婦人科 陳 央仁先生

3 実践を振り返って

(1) 食育研修

食育研修では、給食が作られる過程や栄養についてなど学んだ後に実際に提供されている給食を試食させていただきました。背景を知ることによって感謝の気持ちが増しただけでなく、家庭での食事にもいかしたいなど参加して良かったとの声が多く聞かれ有意義な時間となりました。また、子ども達も講演を聴く機会があると食への見方や考え方が変わるのではないかと意見も聞かれました。



食育研修

(2) 成人教育委員会・家庭教育学級合同「性教育講演会」

性教育講演では、2学年の生徒とともに性についてだけでなく命の尊さなど陳先生の生い立ちや実際に関わった事例などを交え幅広く学ばせていただく機会となりました。中学生における性教育の目標や性教育の考え方、性病や性被害など具体的に学べたため家庭で子どもに性について話す際の参考になりました。



性教育講演会

4 まとめ

今年度は2回の開催となりました。普段、子ども達が学校で食べている給食を試食したり、生徒と一緒に講演を聞いたりする機会は学校生活の一部に触れることのできた時間になったのではないかと思います。それにより今年度の目標に掲げていた保護者同士の情報交換や交流の場となり、家庭でも子どもとの話題のきっかけになっていたら幸いです。その反面、参加率の面では共働き世帯が多い昨今の状況下で参加しやすい日時設定や告知など工夫できたのではないかと反省する点もありました。

最後に今回の活動でご指導頂きました講師の先生、ご多忙の中ご協力頂きました学校の先生方に、心より感謝申し上げます。また、ご協力頂きました役員各位、保護者の皆様方にもお礼申し上げます。

家庭教育学級の歩み

ひたち野うしく中学校 家庭教育学級
委員長 野田 敬子

1 ひたち野うしく中学校の学級目標

- ・体験を通して親子の絆を深め、新しい気づきの場をつくる
- ・子ども達の発達と家族のあり方、心豊かでたくましい子の育成を目指す親の役割を学ぶ

2 学習活動の経過

(1) 令和6年9月17日(火)

- ・開級式・・・委員長挨拶
柳橋校長先生のお話
- ・「思春期の子どもへの接し方」
講師：田中 愛 先生(牛久市教育センターきぼうの広場)

(2) 令和6年12月13日(金)

- ・「中学生のためのライフデザイン講座」
講師：野田 敬子 先生(有限会社ファミリーライフクラモチ取締役 キッズ・マネー・ステーション認定講師)

3 実践を振り返って

(1) 開級式/思春期の子どもへの接し方

思春期の悩みや葛藤などを、自分たちが思春期だった頃を思い出しながら、脳の特徴とともにととてもわかりやすく教えていただきました。

また、スマホについての子どもへの説明の仕方、子どもに伝えたい事があるときの具体的な話し方など、すぐに実践しやすいことばかりでした。



中学生のためのライフデザイン講座

(2) 中学生のためのライフデザイン講座

中学生はこれからの人生、進学、就職をするうえで大切な時期です。これからどんな人生にしたいのかを具体的に未来年表を作成し、親子でこれからのことを話しあいました。

自分の将来を表にシールを貼ることで目に見える形で考えることができ、なかなか子どもの将来設計を聞く機会がない保護者にも楽しんでもらえました。

また、自分たち家族だけではなく、友達の家族や将来、仕事について触れることにより視野を広げる機会になりました。



4 まとめ

1回目は興味を持ちやすい内容の講座を開催でき、2回目は授業参観の日に生徒の授業の一環として講座を開催することができたので、親が参加しやすかったと思います。また、子どもの将来設計は近い未来の話なので、親子ともに話し合う良い機会になりました。

家庭教育学級の歩み

おくの義務教育学校(前期)家庭教育学級
委員長 栗山 尚子

- 1 おくの義務教育学校(前期)の学級目標
「体験を通して親子の絆を深め、新しい気付きの場を作る。また、活動を通して親
同士の親睦を深め、子育てを一緒に学び合う。」

2 学習活動の経過

- (1) 6月12日(水)
 - ・開級式
吉田校長先生の話/栗山学級委員長の話(学級目標・年間計画)
 - ・親子科学工作教室「ビー玉万華鏡作り」
【講師】つくばエキスポセンター 佐藤大亮・萩原俊夫・桐明紀子 各先生
ビー玉万華鏡作り/情報交換会
- (2) 11月26日(火)
 - ・親子あさがおリース作り
【講師】石井知恵子先生(学級担任)
クリスマスリース作り/情報交換会
 - ・閉級式
吉田校長先生の話/栗山学級委員長の話

3 実践を振り返って

- (1) 親子科学工作教室「ビー玉万華鏡作り」
講師の先生に丁寧に説明してもらいながら、親子
で楽しく万華鏡を作ることができました。事後アン
ケートでも、「楽しかった。」「親子で作ることがで
きてよかった。」等、参加してよかった旨の感想が
ほとんどを占めていました。「万華鏡の作り方が簡
単でよかった」との感想もあり、少ない材料で、小
学1年生でも作ることができたのも良かったと思
いました。活動の後半では、エキスポセンターの方
が様々な種類の万華鏡を貸してくださり、子供たちは
不思議な鏡にたくさん触れることができました。



親子科学教室(ビー玉万華鏡作り)

- (2) 親子あさがおリース作り
夏に育てたあさがおのつるを利用して、クリ
スマスリースを作りました。リースにつける飾りは
役員でも用意しましたが、各家庭でも様々な飾り
を持参しており、家庭ごとに個性あふれるリース
が完成しました。グルーガンを使用して飾りを接
着した親子も多く、本格的なクリスマスリースも
数多く完成していました。事後アンケートでは、
「親子で一緒に作ることができて楽しかった。」
「貴重な時間を過ごすことができた。」等の感想が
寄せられました。



クリスマスリース作り

4 まとめ

家庭教育学級で親子活動を行ったことで、子どもの学校での様子を見ることができ、安心したり、子どもの成長を感じたりすることができました。また、家庭教育学級によって親同士の新たな繋がりもでき、今後、一緒に子育てしていく仲間ができたことに頼もしさも感じました。一年間、活動にご協力いただいた生涯学習課の方々、講師の方々、先生方、保護者の皆様に感謝申し上げます。

家庭教育学級の歩み

おくの義務教育学校(後期)家庭教育学級
委員長 根本 香織

1 おくの義務教育学校の学級目標

「活動を通じて保護者同士の親睦を深め、情報を交換したり悩みを共有したりすることで、よりよい親子関係を築く」

2 学習活動の経過

(1) 6月25日(火)

○開級式

・家庭教育学級委員長の話(学習目標・役員紹介・年間計画)

○給食試食会及び講演会

・講師 栄養教諭 井坂 菜乃花先生

・給食配膳 ・情報交換会

(2) 11月5日(火)

○思春期の子供との関わりについて

・講師 スクールカウンセラー 大庭 加代子先生

○閉級式

3 実践を振り返って

(1) 開級式・給食試食会

成長期の健康と食について、栄養のバランスや塩分量のこと、成長期の食の大切さを学ぶことが出来ました。

朝ご飯のバランスや家族みんなで食べる事で、学力や運動機能に違いが出る事も教えて頂きました。素材の味を生かしたとても美味しい給食で、毎日の食事をバランス良く食べられるよう、将来のためにも今から出来ることをやっていきたいと思いました。

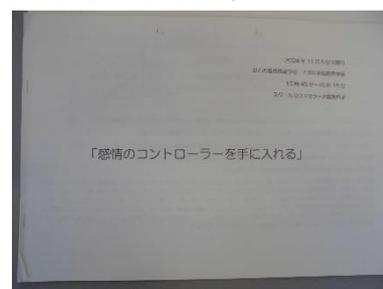


(2) 思春期の子供との関わりについて・閉級式

自身のエゴグラムチェックを行い、普段の自分の思っている感情とはまた違った結果がでて、新たな発見が出来ました。

感情のコントロールは難しい部分もあるが、子どもにとってより良い環境作りのために親自身も見直しながら、見つめながら一緒に成長していけたらいいなと思いました。

思春期の子どもをもつ母親として、今後生活していく上で参考になり、とても勉強になった講話でした。



4 まとめ

家庭教育学級の活動を通して、保護者同士でコミュニケーションを図ったり、情報を共有できたり、子育てについて考える有意義な時間となり、とても良い機会になりました。これからも子育てを通じて交流を広げ、成長を見守っていききたいと思いました。

ご参加いただいた保護者の皆様、講師の先生方、学校の先生方、生涯学習課の方々、ありがとうございました。

編集後記

「求めすぎず与えすぎず、ほどよい感性と愛情で子育てしよう」。だいぶ以前に、どこかの講演会で家庭教育について講師の先生が発した言葉がメモに残っていた。心に響いた内容だったので、メモに残したのだと思われる。そして「求めすぎない」「与えすぎない」「ほどよい感性と愛情」などそれぞれの行動指針や力感は、おそらくその講演で語られたであろう。

しかし一方で、生身の人間、十人十色の人間を目の当たりして、それがわが子ともなると言葉通り教科書通りに子育てなるものはうまくはいかない。効率という言葉がもっともじっくりこない人の営みであろう。子育ては、子をもった親はだれもが経験する。それにも関わらずだれもが困難を感じ、悩み、苦勞する。そのぶん、うまくいったと感じた時の喜びはこのうえなくうれしいが……。だからこそ、この子育てという親となった者の大命題を解決していくために、多くの先人や仲間から学び、情報を共有し、より望ましい方向へ向かわせたい。そのために意図的に親同士が集ったり、組織的に勉強会や情報交換会を開いたりする枠組みが必要なのである。

牛久市内の幼稚園・学校ではそれぞれが母体となって家庭教育学級を開設し、実施している。そして本年度も忠実かつ真摯に実践を重ねてくれた。中心となってくれた学級委員長様をはじめ役員の方々、園・学校の担当先生には頭が下がる思いだ。さらに、その意義を理解し、それぞれの活動に参加して勉強し、仲間づくりをしてきた学級生に対しても大いに敬意を表したい。

令和7年1月12日に開催された「二十歳のつどい」は、各中学校出身の実行委員が主体となって運営された。参加した青年たちは大変礼儀正しく、上品であった。来賓等の話を聴く態度も立派であった。「牛久市の家庭教育の成果である」とはさすがに恐れ多くて言えないが、少なからずこれまでの地道な実践活動がこのような場面でも実を結んでいるのではないかと感じてしまう。むしろそう信じてこれからも地道にコツコツと継続していく事業であると信じたい。今年度の学級生は、小学1年生と中学1年生（7年生）の親が主であったが、7年後と13年後の「二十歳のつどい」を楽しみしていただき。学級生の皆さんの向学心や真摯な態度がきっとどこかで実を結ぶはずです。

牛久市教育委員会生涯学習課 家庭教育学級担当

令和6年度 牛久市家庭教育学級実践集 第13号

【 うしくっ子 】

令和7年2月7日発行

編集 牛久市家庭教育学級生

発行 牛久市教育委員会生涯学習課